

事務事業No.		11-	4
事業名	新産業創造推進事業	会計 一般	款 6 項 1 目 3
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課
施策	7-1 農業の振興	係名	新産業創造推進室

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農業者、事業者、住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	付加価値の高い農産物の導入や現在行われている土地利用型農業で生産される作物の付加価値を高め、収益性の高い農業経営を実現し、農業を魅力ある産業に育てる。
事業内容	「農業を核としたまちづくり」を推進するため、大豆の先進的な加工技術を有する企業並びに町内農業法人2社と町が連携し、東員町産大豆の魅力向上等を目的とした事業を推進しています。この事業では、大豆の生産から加工・流通・販売まで町内で一元的に完結できる6次産業化を目指す。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名			令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	農産品またはそれを活用した特産品数			15	16	19	品	↑
2	大豆の町内生産量			123	88	96	t	↑	128
3									
4									
5									
				令和4年度 (決算)		令和5年度 (決算)		令和6年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				17,055		15,983		11,387	
財源内訳	直接事業費 A			555		803		827	
	うち一般財源			555		803		827	
人件費 (千円) B				16,500		15,180		10,560	
内訳	一般職員 (人・千円)			2.5	16,500	2.30	15,180	1.60	10,560
	臨時職員 (人・千円)			0	0	0.00	0	0.00	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 大豆栽培方法について一定の成果を得たことから、面積拡大を実施するため、生産者の増加を目指す 大豆商品の販路拡大 大豆加工製品の製造施設を活用した6次産業の推進 付加価値の高い大豆製品の研究開発 三重北農協と協議し、物流部分のコスト改善を図る 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値の高い大豆「ななほまれ」を使用した製品の開発 「ななほまれ」の栽培方法については一定の成果を得たが、自前での「種子栽培」をできていないことが課題 大豆の農産物検査から納品・保管にかけての物流コストの改善が必要
②R5年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値の高い大豆栽培の生産者について、新たに1者増加した。 農産物加工処理センターを改修し、大豆を丸ごと使用した「油揚げ」の生産を開始した 小中学校で食育授業を実施した。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き面積拡大、生産者の増加を目指す 「種子用」としての栽培の実施 付加価値の高い大豆「ななほまれ」を使用した製品の開発 三重北農協と協議し、物流部分のコスト改善を図る